



つぼみ保育園年報 第15号

2012年(平成24年)7月 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会 つぼみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24

[TEL] 092-681-4782 [FAX] 092-681-4780

[E-mail] tsubomi@nifty.com

[HP] http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/

子どもの主体的な生活や遊びを通しての総合的な保育

園長 大久保 雅子

し、それに基づき年間指導計画・月・週の指導計画を作成し日々の保育内容を立案し養護と教育を一体的に行っています。

子ども一人ひとりの発達の道すじを促えて遊びの環境を整え、子どもが主体的に関わる遊びを通して、子どもが自ら考え、判断して行動できるように援助しています。

大人が一方的に知識を教え込んだり、練習・練習と訓練によって出来映えを重視し、見せるための保育はもつてのほかと思っています。子ども達が自ら、やろうとする意志を重んじ、遊びを通して、たくさん体験をする中で〇〇ができるようになったと、「自分でできた」という喜びや満足感を持ち、そのことが子どもの自信と新たな意欲に繋がっていくよう関わっています。

また、集団で過ごす中で楽しく遊んでいるかと思うとけんかをしたり、悔しい思いをしたり葛藤しながら仲間と一緒に育っています。人と人の関わりの中で優しさ、思いやり、時には悔しさ、そして逞しさなど目には見えない心の動きにしっかり目を向け、それをしっかり受け止め、丁寧に関わり、私たちの思いや願いを返していくことを大切にしています。

この乳幼児期に人として生きていくために必要な力を育んでいくことが大事だと思っています。

このつぼみを巣立っていった子ども達がお父さん、お母さんになって子どもを連れてくる姿を見ると「いい、大人になったな」とその成長ぶりをうれしく思います。第1回卒園児はもう52歳、世界の各地でいろいろな花を咲かせていることでしょう。

平成26年にはつぼみ保育園も50周年を迎えます。実行委員会の皆様が多忙の中、会議を重ねて下さっており、ありがとうございます。保護者、卒園児、旧職員の皆様との再会を楽しみにしております。

一人ひとりの子どもが豊に育つ保育を実現するために、職員の専門性の向上とチームワークの充実に向けて精進してまいりたいと思います。

国会において、現行の認定子ども園の拡充と一応の可決はされましたが、子どもの最善の利益が守られるのか、今後の動向にしっかり目をむけていかねばならないと思います。

昨今の報道の中で保育園と幼稚園についていろいろ論議されているのを見聞きしたとき保育園は子どもを預かること、幼稚園は教育をするところと間違った捉え方をされている感があり残念でなりません。

児童福祉施設最低基準第35条の規定に基づき、保育所保育指針が告示され、法定化された保育士資格を有するものがたずさわっています。

私たちは保育所保育指針の趣旨をふまえ、わが園の保育課程を編成



子ども・子育て新システム

野党の反対で法案修正、しかし……

廃案にして真の保育制度改革を

消費税を上げるのであれば生きた財源に

理事長/統括園長 大 浦 純 平

遂に、六月二十六日の衆議院本会議で民主党が推進する「税と社会保障の一体改革」が自民、公明両党との修正協議で一部修正して可決されました。今後、参議院に舞台を移し集中審議を経て、成立に持ち込まれようとしています。

この修正には総合子ども園法は撤廃する、とか児童福祉法第二十四条は変更しない等が含まれており一瞬ですが胸をなで下ろしかけました。

しかし、その修正法案を詳しく読んでみると、自公政権がかつて作り出した認定子ども園を拡充するということとして、総合子ども園と同様の制度にしていることになっています。

また、変更しないはずの保育所運営費の仕組みについては「当分の間は変えない」との付則条項がこつそり付け足してあったり、保育時間についても保護者の仕事時間によって丸一日保育園を利用できなくなる制度はそのまま生きているようです。

少し時間を戻します。

私はこの年報や園便りに、「これで日本の子どもたちに未来はあるのか」、「日本の保育はどこへ」と題して今の保育制度改革は間違っている、度々、書かせていただきました。

国は保育に対し財務省

今一度書きますが、この新システムでは、保護者は役所に保育園への入園を申し込むのではなく、自分の仕事内容を申請し仕事と通勤時間に必要なだけの保育時間を認定してもらうだけに なります。その後は、自分で保育園を回り入園申し込みをして、園が選別をし入園契約を結ぶことに

企業にも門戸を広げ、利益の配当を可能にします。で、介護福祉でそうであったように、悪徳な業者の出現が危惧されます。

給食を外部業者に委託しコストを下げてもらう。

園の収入は確実に減り、保育士の給与を下げるを得なくなります。



企業にも門戸を広げ、利益の配当を可能にします。で、介護福祉でそうであったように、悪徳な業者の出現が危惧されます。

給食を外部業者に委託しコストを下げてもらう。

園の収入は確実に減り、保育士の給与を下げるを得なくなります。

「引き継ぎ、伝える事」

父母の会 会長 檜川信五

光栄にも平成24年度父母の会会長もさせていただきましたこととなりました。檜川です。平成22年度・23年度とさせていただきました、娘の卒園にて今年度が最終年となりました。昨年度までとは違い、娘と一緒にわたくしも青組さんです。白組さん、赤組さんに伝えなければなりません。次世代の役員さんに役員活動を引き継ぎ、伝えなければなりません。これまで2年間、引き継いだものを試行錯誤しながら活動を進めてきました、という聞こえがいいですが、私自身のペースで活動を進めてきましたので、だらしくなっている部分も多く伝える側として恥ずかしい内容になっております。人に伝えるということは自身を振り返ることでもあり、もったいなく思ってしまうかもしれませんが、思っただけで済ませたいというこの父母の会活動をよりよい形で引き継ぎ、伝える事ができるよう、1年間頑張っ



の前の出来事や人々が急にいとおしく感じてくることがあります。目の前の事をほったらかし明日や明後日、未来の事を見ていた時期もありましたが、なにも思い出は残りませんでした。今を楽しむこと。明日は明日を楽しむこと。そこにいる人々と楽しむことが、その瞬間が楽しいことであり、振り返る事の出来る思い出でありうることを知る事ができました。50周年実行委員会では歴代の会長さんとお話をする事がありますが、皆さん口を揃えて『つぼみ時代』を楽しそうに父母の会仲間の名前や子供と過ごした日々の思い出を振り返っていらっしやいます。いつかこんなふうにお話ができれば、役員、会員一同、力を合わせて、『つぼみ時代』を楽しんでいこうと思います。また、こんなに素敵なタスキを途切れる事なく、伝えてくださった歴代の会長・役員の方々ありがとうございました。これからもしっかり伝えていかせていただきます。

行事

平成二十四年度

つぼみ保育園

4月	3日	新年度説明会
7日	親子歓迎遠足	
21日	おたのしみ会	
26日	園児健康診断（3日間）	
5月	10日	端午の節句おたのしみ会
12日	年長組親子保育	
	クラス懇談会	
26日	年少組親子保育	
	クラス懇談会	
6月	2日	影絵劇場（一般公開）
8日	歯科健診	
14日	七夕おたのしみ会	
7月	5日	おたのしみ会
13日	お泊まり保育（青組）	
14日	保護者ボランティア活動	
21日	プール開き	
23日	おたのしみ会	
8月	30日	おたのしみ会
9月	13日	運動会
10月	6日	敬老の集い
18日	敬老の集い	
31日	園児健康診断（3日間）	
未定	友愛セール	
11月	10日	リトミック発表会
17日	おたのしみ会	
12月	6日	おたのしみ会
9日	輔仁会合同音楽祭	
	於 そびあしんぐう	
14日	作品展	
15日	もちつき	
1月	17日	おたのしみ会
2月	1日	まめまき
9日	年長発表会	
14日	おたのしみ会	
23日	年少発表会	
3月	1日	桃の節句おたのしみ会
6日	遠足（年長）	
13日	遠足（年少）	
20日	卒園式	
29日	入園式（新園児）	
4月	7日	新年度説明会
21日	親子歓迎遠足	
5月	10日	端午の節句
6月	8日	歯科健診
7月	5日	七夕まつり
10月	20日	親子保育（本園にて）
2月	1日	まめまき
3月	1日	桃の節句
2日	親子保育	

平成23年度 つぼみ保育園経理区分 決算状況 (単位 千円)		
【 資金収支計算書 】		
経常活動による収支	運営費収入	212,591
	利用料収入	7,479
	その他の経常活動収入	32,606
	経常収入計 (1)	252,676
	人件費支出	156,840
	事務費支出	23,659
	事業費支出	31,622
	その他の経常活動支出	7,687
	経常支出計 (2)	219,808
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		32,868
施設整備等による収支	施設整備等収入計 (4)	0
	施設整備等支出計 (5)	11,854
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲11,854
財務活動等による収支	財務収入計 (7)	0
	財務支出計 (8)	22,050
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲22,050
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		▲1,036
前期末支払資金残高 (11)		15,067
当期末支払資金残高(10)+(11)		14,031

【 貸 借 対 照 表 】		
資 産	流動資産	25,803
	固定資産	383,922
資産の合計		409,725
負 債	流動負債	11,772
	固定負債	3,795
	小 計	15,567
純 資 産	基本金	43,103
	国庫補助金等特別積立金	168,288
	その他の積立金	91,500
	次期繰越活動収支差額	91,267
	小 計	394,158
負債及び純資産の合計		409,725

平成24年度 職員構成 (7月1日現在 59名)		
理事長 大浦 純平 園 長 大久保 雅子		
つぼみ保育園		
主 任 小島 千枝 副主任 西 紘美 事務主任 猿渡 健一		
も も組	宮川 京子 上野 あすか 林 郁子 川口 ますみ 野口 希世 時津 俊枝 中北 由里 高崎 謙 越治 和代 大野 歩 幾度 良恵 小田 晃子 永末 映里	芦原 夏江 山口 香織 清水 淳子 藤井 由美子 永尾 弘子 松井 とも子 吉崎 仁美 姫野 恵 光安 佑佳 西村 知子 石丸 あず沙 小西 真弓 小山 せり香
	小田 彩佳 大浦 佳子 高松 明美 松本 達則 原田 彩 阿部 香澄 岩崎 真樹 福島 千春 岡崎 千代 英原 さやか	
	荒木 亜希子 中島 凉子 樋口 優未 森田 優美	堀 由利子
う め組	中北 由里 高崎 謙 越治 和代 大野 歩 幾度 良恵 小田 晃子 永末 映里	吉崎 仁美 姫野 恵 光安 佑佳 西村 知子 石丸 あず沙 小西 真弓 小山 せり香
	小田 彩佳 大浦 佳子 高松 明美 松本 達則 原田 彩 阿部 香澄 岩崎 真樹 福島 千春 岡崎 千代 英原 さやか	
	荒木 亜希子 中島 凉子 樋口 優未 森田 優美	堀 由利子
さくら組	小田 晃子 永末 映里 小田 彩佳 大浦 佳子 高松 明美 松本 達則 原田 彩 阿部 香澄 岩崎 真樹 福島 千春 岡崎 千代 英原 さやか	石丸 あず沙 小西 真弓 小山 せり香
	小田 彩佳 大浦 佳子 高松 明美 松本 達則 原田 彩 阿部 香澄 岩崎 真樹 福島 千春 岡崎 千代 英原 さやか	
	荒木 亜希子 中島 凉子 樋口 優未 森田 優美	堀 由利子
第2つぼみ保育園(分園)		
分園長 田村 明子		
保 育 士	津田 豊子 浦川 華奈美 野田 美和子 野中 智子	村山 祐美 岡崎 久美子 阿部 俊子 伊藤 満子
	管理栄養士 城戸 奈緒 延長専任保育士助手 古賀 菜津美	

平成24年度 父母の会役員	
会 長	檜川 信五 (わらび)
副会長	喜多 正貴 (さくら)
々	濱原 茜 (なずな)
々	村山 智江 (すみれ)
会 計	稲留 あすか (なずな)
々	原 真理子 (も も)
書 記	木下 貴文 (つくし)
委 員	一ノ瀬 沙織 (も も)
々	寛 哲弘 (も も)
々	金子 耕一朗 (う め)
々	宮崎 環 (さくら)
々	安永 奈津代 (すみれ)
々	大久保 学史 (すみれ)
々	山内 圭 (れんげ)
々	松崎 征子 (れんげ)
々	渋谷 美保 (つくし)
々	中川原 健介 (つくし)
々	古賀 千春 (つくし)
々	長田 裕子 (わらび)
々	浅見 宏亮 (わらび)
々	田川 健司 (わらび)
々	木原 桂子 (わらび)
々	小南 出 (なずな)
監 査	梅木 孝 (わらび)
々	西元 さな江 (つくし)

寄せられた意見・要望 (社会福祉法の公表義務付けに準拠)

つぼみ保育園	受付年月	申出者	受付内容	解決結果
	H. 23. 7	近隣男性	近隣の方から保護者送迎用駐車場にエンジンをつけたまま駐車しているので騒音と排気ガスで迷惑している。	迷惑をかけていることを謝罪し、保護者にエンジンを切って駐車するように口頭や張り紙で注意した。 駐車場管理会社に連絡をして、駐車場内にも張り紙をして注意を呼びかけている。

50周年記念事業実行委員

 平成9～10年度 会長 永島和仁	 平成7～8年度 会長 中島助義
 平成13～14年度 会長 塩見昭彦	 平成11～12年度 会長 湊 敬文
 平成16～17年度 会長 伊集院直親	 平成15年度 会長 副島克己
 平成22～24年度 会長 檜川信五	 平成20～21年度 会長 熊谷 勝
 平成18～19年度 会長 中島秀樹	

報告させて頂きましたが、平成26年度でつぼみ保育園が大きな節目である創立50周年を迎えます。記念事業を行うべく、父母の会歴代会長様よりご助言を頂きながら一歩ずつ準備を進めております。直近では平成24年4月14日にお集り頂き、概ね以下のような

つぼみ保育園で出合い、そし

今後予算を含めより具体的な検討が始まることになりま

す。

三、実行委員会を中心に旧父

母の会役員を招集し、

準備にあたる

二、その一環として平成27

年1月に50周年記念式

典を開催

・福岡国際会議場を第一候

補として検討する

・記念講演を実施する

・法人三ヶ園による合同音

楽祭を開催する

募金集め、記念誌発行、式典

当日スケジュール等々決めなけ

ればならないことが山積みです

が、皆さまの協力を得ながら

骨子を定め、40周年以後の父

母の会役員を中心に実行委員

会を拡大し、役割分担の下、

準備を本格化していきたいと

思います。

皆様には何かとお力添えを

お願いする機会も多くなると

思います。是非、ご指導、ご

支援を賜りますようお願い申

し上げます。

50周年記念事業に向けて

創立五十周年記念事業
実行委員長 伊集院直親

で日々を共にした方々との再
会と、新たな歴史への起点とし
て「十年に一度」のこの機会を
生かすことができればというの
が、前準備に携わる皆さまの
願いです。

おやじの会会長 喜多正貴
第17回卒園生

す。お子様やご家庭の生活を
支えるべく仕事があるゆえ、
我々がすべき子育てをサポート
して下さっているのが保育
園といえるのではないでしょう
か。その視点をふまえて以下の
内容を計画しているところで
す。

まず、十一月開催予定の講
演会では、子育てにおける悩
みやわだかまりを少しでも和
らげられるような(親目線の)
企画を考えております。また
五十周年記念式典では、父母
の会との共催で、家庭や親子
関係、社会で学ぶ人間関係が
もたらす望ましい成長を感じ
られるような(子ども目線の)
企画を考えております。

最後になりますが、実は私は
三十年前の卒園児です。少し
でも恩返しできれば、という
感謝の意を胸に、少しでも皆
様のお役に立てれば、という謙
虚さを胸に頑張りたいと思い
ます。改めて協力いただ
きますようお願い申し上げま
す。

※毎年、父母の会副会長を務め
る男性が、おやじの会会長に
なっています。

子育ての原点は
やはり家庭

トピックス

事務室を
拡張・改装しました

左の小さな小窓が
受付カウンターです。

■事務室に併設していた倉庫を改修して事
務室を拡張しました。棚がすっきりと収ま
り、明るい雰囲気になりました。また、入
り口横に保護者の方との納入金や書類等の
やりとりを行う受けカウンターができま
した。

■三歳未満児保育室全室に室内灯を増や
し、とても明るくなりました。おもちゃを
置く棚や収納棚等も新しく作ってもらいま
した。さらに0
才児保育室には
サークルがで
き、お部屋をよ
り有効に活用で
きるようになりました。

■父母の会より
防災頭巾を購入
して頂き、毎月
の避難訓練で年
長組の子ども達
は、必ず被って
逃げています。

つぼみ保育園
主任 小島 千枝

12年前に退職した後、大
学で勉強しなおし、新宮つ
ぼみや第2つぼみ保育園で保育士として働
いていましたが、縁あって昨年「つぼみ」に
戻ってきました。園舎も職員も変わり、懐か
しさよりも戸惑いの方が多くありました。
そして、今年度からは主任です。「つぼみ」
の生き字引と呼ばれた前任の田村主任とは
違い、まだまだ「どうするぞ?」と教えても
らうことの方が多い私ですが、早く皆様の
お役に立てる主任になりたいと思ってお
ります。どうぞよろしく申し上げます。

第2つぼみ保育園
分園長 田村 明子

24年4月より第2つぼ
み保育園(分園)に異動し
ました。通勤時間が10分程長くなり(国道
3号線の信号の待ち時間がやたらと長い
です)、必死に自転車こいで通っていま
す。千早駅周辺では、高校生になった卒園児
や保護者OBの皆様とお会いする機会も多
くなり、通勤の楽しみのひとつです。
分園は0・1・2才児の小さな園です。家
庭的雰囲気なのか「見ているよ」「だいじょ
うぶよ」と子どもたちを全面的に受け止め
る大きな気持ちで日々、過ごしています。